

泉南市教育委員会令和2年第1回臨時会会議録

(1) 日時・場所

令和2年2月6日(木)

午後4時00分 開会 午後5時00分 閉会

泉南市役所 教育委員会事務局内において

(2) 教育委員会出席者

古川 聖登	教育長
片木 哲男	教育委員会委員(教育長職務代理者)
藪内 進	教育委員会委員
太田 淳子	教育委員会委員

(3) 事務局出席者の職氏名

岡田 直樹	教育部長
阪上 浩之	教育部次長兼人権教育課長
岩崎 誠	学務課長

(4) 休憩・遅刻等について

(5) 会議録署名者の氏名

古川 聖登
片木 哲男

泉南市教育委員会 令和2年第1回臨時会 議事日程

令和2年2月6日(木) 午後4時00分 開会

泉南市役所 教育委員会事務局内

日程番号	議案等の番号	件名
日程第1		開 会
日程第2	議案第1号	会議録署名者の指名
日程第2	議案第1号	令和2年度泉南市教職員人事について
日程第2	議案第1号	その他

午後4時00分開会

○古川教育長 ただいまから、泉南市教育委員会令和2年第1回臨時会を開催いたします。出席委員が過半数であり、定足数に達しておりますので、会議は適法に成立いたしました。

これより、日程に入ります。

日程第1、会議録署名者の指名を行います。本日の会議録署名者は、教育委員会会議規則第12条第2項により、教育長のほかに教育長において片木委員を指名いたします。

次に日程第2、議案第1号、令和2年度泉南市教職員人事についてを議題といたします。

本件につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書きの規定に基づきまして、非公開として審議することを発議します。審議を公開しない、つまり非公開にするには同法により教育長、または委員の発議により出席委員の3分の2以上の多数の議決を要し、かつ同条第8項により討論を行わないでその可否を決しなければならないことと規定されております。よって、直ちに本件を採決いたします。

教職員人事につきましては、発表時期がまだ先ですので、それを先にお諮りすることになりますから、非公開が相当かと考えております。よって直ちに本件を採択いたします。

お諮りいたします。

令和2年度泉南市教職員人事については公開しない、つまり非公開による審議することに御異議ございませんか。

全員異議なしと認めます。

よって、議案第1号、令和2年度泉南市教職員人事については公開しない、つまり非公開により審議することに決定いたしました。

[REDACTED]

○古川教育長 ここで教育長発議により非公開を解きたいと思ひます。直ちに本件を採決いたします。

お諮りいたします。

非公開を解くことに御異議ございませんか。

全員異議なしと認めます。

よって、非公開を解くことに決定いたしました。

次に、その他といたしまして、岩崎学務課長から報告があります。

岩崎学務課長。

○岩崎学務課長 失礼いたします。前回、令和2年第1回泉南市教育委員会定例会でお諮りさせていただきました学務課の補正予算に係ります内容、これについて説明が足りなかった点がございましたので、本日改めて御報告を申し上げます。

先に下の歳出欄をごらんください。

新制度移行園に当たります3つの幼稚園、砂川幼稚園、カトリック天使幼稚園、海星幼稚園におきまして、当初入園予定者数で算出しておりました保育料無償化に係る負担金に関しまして、当初8,000万円を見込んでおったところ、見込みより入園数が少なく、8割近くになったということで、1,200万円の減額を考えてございます。

子どもたちの数が減ったことによりまして国や府から負担金、こちらと合わせて縮小、減額ということで、上の歳入欄も合わせて減額をさせていただくこととなります。

一番上が国庫負担金でございます。441万6,000円の減額、それから2番目、④番の府の負担金につきましては、227万7,000円の減額です。

⑤番、これも府の補助金ということで153万7,000円の減額ということでいわゆる幼児教育無償化にかかわりまして、私立幼稚園にお子様を通わせております保護者様の事業が全体で縮小させていただきますということでお願いしたいというところで

ございます。

以上でございます。

○岡田教育部長 その補正予算につきまして、追加で要求する内容がございますので、口頭にて御説明申し上げます。

内容は今のマスコミをにぎわしておりますけれども、GIGAスクール構想についてです。1人1台のパソコンと高速ネットワークを国が整備しようという事業でございます。

具体的には、各14校の校内のネットワークを高速化することと、無線のWi-Fiのアンテナを設置する工事を行うための経費を盛り込むものでございます。先ほども財政課と協議する中、まだ数字がかたまっておりません。概数で大変恐縮ですが、学校の14校の施設整備事業費としまして、概ね7,000万円。そして、それを裏づける国からの歳入として、教育費国庫補助金として、おおむね2分の1、3,500万円の歳入を補正予算として3月市議会に向けて提案する手配をしているところでございます。

なお、今回7,000万円の工事に対して3,500万円の歳入があり、残りの2分の1は市民の税金を直接充てるのではなくて、今回全て国等の調整で一旦借金をさせていただきまして、その残の6割をまた後から国からいただけるという形になります。市の持ち出しは、今回0円で将来全体の30%余りを30年間ほどかけてお返ししていくというような事業の流れになっております。誠に申しわけございません。まだ今その見積もりやあるいは計算、数字を出している最中でございますので、ペーパーにもできなかったこと申しわけございません。

以上でございます。

○古川教育長 本体のパソコンについて、ちょっと来年度を見通してどうなるのか。

岡田教育部長。

○岡田教育部長 今回、コンピューターのネットワークをつくるということは、国から今から3年後、5年後には、一人一台のパソコンを実現しなさいということと言われております。現在の見通しとしましては、令和2年度の新たな補正予算として、私どもでは小学校5、6年、それから中1のかた向けのパソコン端末約1,800台分を調達していきたいと考えております。順次来年、再来年度には小学校中学年と中学3年について導入し、3年目には小学校低学年にとりい流れで導入していきたいと考えております。業界でも、日本全国の子どもたちにそんなにパソコンを供給できるのかと、メーカーから供給できるのかという話もあり、まだ不透明な部分がございますけれども、現在のところそういう全体計画をもって、まずは今回の学校内に高速ネットワークを引くための線を整備するということでございます。

以上です。

○古川教育長 ただいまの説明に関して、御質問・御意見等はございませんか。

○片木委員 先生方の中でも、パソコンの得意な先生と、そうでない先生の個人差があるかと思っておりますけれども、そのレベル差を埋めていく研修を、ハードだけでなくソフト面からの支援も充実させていくということが必要かと思っております。やはりパソコンに関しては、レベルの差を埋めていくことも、機器の整備とともに必要かと思っておりますので、研修を充実させていただきたいと思っております。

○岡田教育部長 そういった観点、本当に大事なところなんです。今回、国はハード面の

整備はするけれども、あとは各自治体でそのままじゃなくてきちりフォローしなさいと、しっかり使う計画も立てなさいとのことです。また片木委員の御指摘の教員の研修などそういったことを実施する計画をしなさいということと言われております。国のほうも、日本全体で今の学校の子どもたちにはパソコンが必要なんだというふうに大きくかじを切った以上、そこまでやるという強い思いが見えてとれます。

これは私、過去に庁内にパソコンを入れた経験からです。おっしゃるようにツールとしてパソコンを配ってもなかなか皆さんに使ってもらいにくい体験をしました。恐らく3年から5年で使うのが当たり前になっていくというようなことを目の当たりにした経験がございますので、多少時間はとられますけれども、そういったところは国も我々も配慮していかないといけないと考えております。

以上です。

○片木委員 今の国はプログラミング教育と言っていますし、国がどんどん先に進んで、それに対応する先生方の研修も非常に大事になってくるのかなとは思っています。

○太田委員 今は子どもの習い事にプログラミングがあるくらいです。

○片木委員 プログラミングの塾に行っている子どももいるみたいですね。

○古川教育長 岡田教育部長。

○岡田教育部長 プログラミング学習につきましては、今御指摘のように塾でも英語、算数、国語に並んでプログラミングがあるというのは御存じかと思っております。一方、私ども当初予算で数はまだ少ないですけれど

も、小学校1、2年生用にはゲーム感覚で紙ベースの電気を使わないプログラミング学習の教材を20セット、各校1セットずつ、それから3年生、4年生に向けては、丸い転がるようなロボット、ボール型のロボットでパソコンやスマホから指示をすれば右に曲がったり、真っすぐ転ぶというロボットを入れていく予定です。あと5、6年生においては、実際パソコン教室でスクラッチという世界中で使えるプログラミング学習をしていただけるようにしています。

以上でございます。

○古川教育長 そのほかに何かございますでしょうか。

藪内委員。

○藪内委員 海星幼稚園というのはどこの幼稚園ですか。

○岩崎学務課長 岬町にございまして、泉南市から通ってらっしゃるお子さんがいらっしゃいます。

○片木委員 安松幼稚園は、新制度の中には該当しますか。

○岩崎学務課長 新しいこの制度に移られた幼稚園と、まだ移っていない幼稚園というのは未移行園と言います。未移行園は、負担金、国の補助の名称が違い安松幼稚園は該当しません。

○片木委員 そうなんですね。泉南市内から安松幼稚園に通園している子どもはいますよね。

○岩崎学務課長 おられます。

○岡田教育部長 20名程度の子どもが通

園しております。

○太田委員 カトリック天使幼稚園、海星幼稚園は、このあたりでは新しい幼稚園ですよ。

○岩崎学務課長 移行していない未移行園に関しましては、今おっしゃっていただいた安松幼稚園、砂川第二幼稚園、阪南市のさつき台幼稚園。3園は、まだ未移行の幼稚園です。

○古川教育長 そのほかに御質問・御意見等はございませんか。

よろしいでしょうか。

以上で、本日の日程は全て終了いたしましたので、泉南市教育委員会令和2年第1回臨時会を閉会いたします。

ありがとうございました。

署 名 ()

()